

製品名: NDUS8 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14524**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	23kDa

抗原情報

遺伝子名	NDUFS8
別名	
遺伝子 ID	4728.0
SwissProt ID	O00217
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。AA 範囲: 90-170

背景

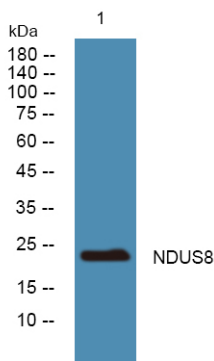
この遺伝子は、ミトコンドリア NADH: ユビキノン酸化還元酵素（複合体 I）のサブユニットをコードします。複合体 I は、NADH の酸化、ユビキノンの還元、そしてミトコンドリアからのプロトン排出を担う呼吸鎖の多量体酵素です。コードされているタンパク質

は、複合体Iの6~8個の鉄硫黄クラスターのうち2個との結合に関与しており、電子伝達プロセスに必須です。この遺伝子の変異はリー症候群と関連付けられています。[RefSeq 提供、2010年3月],触媒活性: NADH + 受容体 = NAD(+) + 還元型受容体。触媒活性: NADH + ユビキノン = NAD(+) + ユビキノール。補因子: サブユニットあたり2個の4Fe-4Sクラスターを結合。疾患: NDUF8の欠陥は、リー症候群 (LS) [MIM:256000]の原因です。LSは、脳皮質下領域における左右対称の壊死性病変を特徴とする重篤な神経疾患です。機能: ミトコンドリア膜呼吸鎖 NADH 脱水素酵素 (複合体I) の中核サブユニットであり、触媒作用に必要な最小限の複合体に属すると考えられています。複合体Iは、NADHから呼吸鎖への電子伝達に機能します。この酵素の直接的な電子受容体はユビキノンであると考えられています (類似性による)。ユビキノンに電子を供与する可能性があります。類似性: 複合体I 23 kDa サブユニットファミリーに属します。類似性: 2つの4Fe-4S フェレドキシン型ドメインを含みます。サブユニット: 哺乳類の複合体Iは45の異なるサブユニットで構成されています。、

研究分野

酸化リン酸化、アルツハイマー病、パーキンソン病、ハンチントン病、

画像データ



Jarkat 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、NDUS8 ウサギポリクローナル抗体を1:1000に希釈し、4°で一晩